

まつもと100歳 2007年5月1日(日)まで、あと57日 第15回まつもと100歳クイズ



Dr. A

梓川「梓水苑」の入浴券を ペアで10組にプレゼント

問題 リンゴの里・梓川にちなんだリンゴづくしのイベントで、リンゴの直売や、もぎ取り、リンゴウォーク、皮むき競争など楽しいアトラクションが盛りだくさんのフェスティバルは？

- A アップルフェスティバル in 梓川
- B 国宝松本城氷彫フェスティバル
- C 福寿草まつり

参考 梓川の梓水苑 観光エリアとして有名な「安曇野」梓川地区にある市営施設で、平成5年4月にオープン。宿泊や入浴のほか、キャンプ場、バーベキュー施設があり、近くを流れる梓川では、川遊びが楽しめます。

応募方法 はがきに、クイズの答えと、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢、職業を明記し、100周年へのご意見、ご要望を添えて10月11日必着で、〒390・8620 政策課100歳クイズ係へ。

クイズの答え、当選者の発表は、11月1日号の広報まつもとで。

前回(9月1日号：第14回)の答えは、「C 子どものための音楽会」でした。

(応募総数62通)
ちなみに「A 歓迎吹奏楽パレード」は、市内外の金管バンド、吹奏楽部の演奏など約3千人による歓迎パレードです。「B 街角スクリーンコンサート」は、オーケストラコンサートを市内3か所ですべて同時生中継し、高画質・高音質で鑑賞するものです。

当選者は、抽選の結果、次のとおりです。(敬称略)
当選者には景品を郵送でお送りいたします。

- 入山辺 牛山麻希、浅間温泉
- 3 齊川清士、惣社 中西加奈、芳川村井町 上條伝一、梓川倭 上條朱実、島内 北原敏雄、島内 戸沢利恵、鎌田1 伊藤雅子、大村 稲葉豊、寿北7 山崎隆子

シリーズ 松本城天守解体復元50年のあゆみ⑥ 市民の宝から世界の宝へ

太鼓門復元と今後の整備

昭和52年に策定した「松本城中央公園整備計画」によって、太鼓門「石垣」の補修と太鼓門復元の課題がようやく動き出しました。

二の丸御殿跡の整備事業が53年～59年にかけて実施されたのに合わせて、55年には、これに隣接する門台石垣の東側残存部も修復しました。

その後、太鼓門の早期復元を展望しながら石垣修理をすることになり、平成3年に太鼓門枳形内の発掘調査を行いました。その結果、礎石六基(ほかに推定礎石一基)が発見され、うち二基は元の位置から移動していることが判明しました。

また、門台南石垣の北面下からは四基の礎石が検出され、礎石は動いていないことが判り、太鼓門復元の基礎データを得ることができました。

太鼓門台南石垣と北石垣は、旧来の石垣積み上げ高を示す文献や資料がなかったため、仮定の高さとなっていました。そこで明治30年代の古写真と

現状の玄蕃石、およびその周辺の主要な積み石とによって、石垣の天端高を決めました。

これをつけて、石垣解体工事と積み上げ工事が平成3～4年にかけて行なわれました。

建物部分については、市民へ資料提供を呼びかけるなどの、復元への懸命な努力が実り、二木伸次氏所蔵の「信州松本城図」起こし絵が発見され、これが指図相当と認められました。

これにより太鼓門の構造と規模が分り、平成8年から創建当時の技術と道具等を駆使して復元工事にとりかかり、平成11年、実に128年ぶりにその姿が甦りました。

太鼓門の復元工事がさされているなか、市民のあいだから、松本城を世界に向けて発信しようとの声があがり、平成11年に「松本城および周辺整備計画」が策定されました。これは松本城を人類共

通の貴重な文化財として、後世に伝えていくことを目標に、整備を進めることにあります。

太鼓門の復元で、国宝松本城を世界への宝への意識が高まりはじめる中、今後は長期展望にたつた整備計画推進のため、市民の理解と協力がより求められます。

今回の国宝松本城解体復元50周年が、そのきっかけとなることを期待しています。



復元され威容を誇る太鼓門